

平成28年3月9日

平成27年度病害虫発生予察注意報（第2号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：タマネギ白色疫病
2. 対象作物：タマネギ
3. 対象地域：県北部
4. 発生量：多
5. 発生時期：2月上旬～4月上旬（平年より早い）
6. 注意報発令の根拠
 - 1) 平成28年3月上旬の県北部39ほ場におけるタマネギ白色疫病の発生ほ場率は84.6%、発病株率は17.9%であり、平成27年3月下旬の調査（発生ほ場率22.6%、発病株率3.2%）や3月中下旬の平年（発生ほ場率18.0%、発病株率1.2%）と比べて多い（表1）。また、甚発生ほ場が3ほ場認められた（表2）。
 - 2) 本病は暖冬・多雨の年に発生が早く多発する傾向がある。大阪管区気象台の近畿地方1か月予報（3月4日から4月5日までの天候見通し）によると、向こう1か月の平均気温は高い確率60%、降水量は多い確率50%、日照時間は平年並または少ない確率ともに40%である。

表1. 県北部におけるタマネギ白色疫病の発生状況

| | 平成28年 | 平成27年 | 平年(3月中下旬) |
|----------|-------|-------|-----------|
| 発生ほ場率(%) | 84.6 | 22.6 | 18.0 |
| 発病株率(%) | 17.9 | 3.2 | 1.2 |

注)調査年月日および調査場所

平成28年:3月7日、和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町 計39ほ場

平成27年:3月23日、岩出市、紀の川市、かつらぎ町 計31ほ場

表2. 県北部におけるタマネギ白色疫病の発生程度別ほ場数と平均発病株率

| 調査場所 | 発生程度別ほ場数 | | | | | 平均発病株率(%) | |
|--------|----------|---|---|----|---|-----------|--------|
| | 無 | 少 | 中 | 多 | 甚 | | |
| 和歌山市 | 小倉 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 21.0 |
| 岩出市 | 根来 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 15.0 |
| 紀の川市 | 豊田 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 14.4 |
| | 北大井 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 24.3 |
| | 長田 | 1 | 0 | 5 | 1 | 0 | 15.7 |
| | 藤崎 | 0 | 1 | 2 | 3 | 0 | 24.3 |
| | 西野山 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 6.4 |
| かつらぎ町 | 窪 | 3 | 0 | 1 | 1 | 1 | 19.7 |
| 合計(平均) | | 6 | 3 | 21 | 6 | 3 | (17.9) |

注)発生程度 無:発病なし、少:発病株率1～5%、中:6～25%、多:26～50%、甚:51%以上

7. 防除上の注意事項

- 1) 発病とまん延が急速に進むと予想されるため、早急に薬剤防除を実施する。
- 2) 本年は発生が早いため、防除時期を早める。
- 3) 排水を良好にし、降雨による浸冠水や停滞水をなくす。
- 4) 農薬については、(独)農林水産消費安全技術センターの農薬登録情報提供システム (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm) で最新の登録情報を参照し、適正に使用する。

担当：農作物病害虫防除所
岡本晃久、大谷洋子
電話：0736-64-2300